

令和5年度

防災（避難）訓練実施計画（案）

日 時：令和5年 6月 8日（木）（15：00～15：50）

場 所：旭川市緑が丘東1条2丁目1番28号
北都保健福祉専門学校

目 次

防災（避難）訓練実施計画	1
防災（避難）訓練要綱	2
防災（避難）訓練シナリオ	3
防災（避難）訓練実施準備・分担計画	4
自衛消防組織一覧表	5
避難経路図	6
避難訓練学生指導要綱	7
消火器模擬訓練について	8
消火器訓練代表者	9
雨天時について	10
整列表	11

令和5年度 防災（避難）訓練実施計画書

令和5年 5月19日調

- 1 目的 令和5年度 学校法人 稲積学園 北都保健福祉専門学校防災計画書第21条に基づく避難訓練を実施し、防災思想の普及と災害発生時の被害を最小限にとどめようとするものである。
- 2 実施期日 令和5年 6月 8日（木） 15:00～15:50
- 3 実施場所 北都保健福祉専門学校
- 4 実施内容

(1) 避難訓練	授業等の場所から集合場所へ避難 (教職員の指示に従い避難場所へ)
(2) 消火器訓練	消火器を使用したの初期消火訓練 (学生各クラス1名計8名、職員4名)
(3) 講評等	校長訓辞 消防署署員から講評及び防災講話
(4) その他	旭川南消防署への通報訓練も実施
- 5 避難経路図 別紙のとおり。(避難場所 職員駐車場 雨天時：体育館)
変更時は教職員の指示による。
- 6 講評等 旭川南消防署緑が丘出張所へ依頼
- 7 自衛消防組織の確認 事前に担任から学生に周知する
- 8 消火器訓練 旭川南消防署緑が丘出張所
- 9 当日の担当者 (1) 避難訓練は自衛消防組織による。
(2) 避難終了等集合以降の司会は鈴木が当たる。
- 10 当日のシナリオ案 別紙のとおり
- 11 その他 細部は、副隊長が校長の決裁を得て決める。

令和5年度 防災（避難）訓練要綱

北都保健福祉専門学校

訓練の種類	避難訓練	日 時	令和5年6月8日（木）15時00分～15時50分	場 所	本 校
本 部	隊長：林要喜知（校長） 副隊長：一戸健二（事務課課長）			参加者	本校教職員、学生
想 定	出火点及び 延焼の危険	出火点は、学生ホールで使用していた電子レンジ。延焼は掲示板のポスターに引火し激しく燃えようとしている。本校自衛消防隊は、初期消火を試みるが、火勢状況から判断して全員避難の必要を認めた。			
	気象の状況	晴・曇・雨・雪 気温 24度 湿度 80%			
	現 示	出火元は、張り紙にて表示、延焼した範囲には係員の指示で学生を入れない。			
目 的		出火後の全教職員、全学生への火災発生の周知と迅速に避難する際の注意事項の遂行に努めることを目的とする。			
避 難 活 動	発見・通報	職員（笠井）が火災発見、自衛消防副隊長（一戸）に報告。副隊長が火災状況を確認して避難の必要ありと自衛消防隊長（林校長）に報告。 隊長は、旭川南消防署に通報するとともに全員避難の指示を自衛消防隊に命じる。			
	避 難	<ul style="list-style-type: none"> 避難は、校内放送により周知する。避難の際には各担当者が学生を誘導し、安全かつ迅速に避難活動に努めること。避難経路は、火災の状況により変更する場合がある。 消火器を使用した初期消火訓練も行う。（消火器は消防署から借用＝中身は水） <p>【参加予定人数】教職員31名 学生196名 計227名 【避難口】 体育館非常口 : 理学1・2年、作業1年 西棟2F避難階段 : 理学3年、作業2・3年 北棟1F学生玄関 : 看護1・2年</p>			
避 難 時 の 心 得	<p>【避難時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当教員の指示に従い、私語厳禁、沈着冷静、かつ迅速に避難すること。 <p>【集合時】</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所に着いたら指定の場所に整列し私語は慎むこと。 クラス代表は、人数を確認し、速やかに一戸に報告すること。 校長、消防所長の講評があるので静粛にすること。 				
講 評	指定された集合場所（職員駐車場）で、避難時の状況や避難器具での模擬訓練の内容に対して、自衛消防隊長（林校長）に講評をお願いする。				
準 備 及 び 係	<p>○準備する物</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部旗、放送設備（マイク等）、ストップウォッチ、整列案内表示 <p>○係 員</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は笠井、現場確認副隊長は一戸事務課課長とする。 通報係は鈴木（校内放送）、田澤（消防署への通報）の担当とする。 各係は自衛消防組織一覧によるが、各係員は状況を判断して、避難活動に努めること。 その他、隊長の指示により変更になる場合がある。 				
事 後	<ul style="list-style-type: none"> 訓練終了後、校舎に入る際は全員玄関にて雑巾で靴の汚れを落としてから校舎に入るようにする。（丸富ビソーに協力要請） 学生は、避難訓練について担当教員からレポート提出の指示を受けた場合は、期日までに提出すること。 学生は、将来指導者的職業になるので避難訓練の大切さを自覚し、日常的に避難行動ができるようにすること。 				
記 録	<ul style="list-style-type: none"> 本部員は、避難時の状況の良否や、避難時間等を記録する。 担任は、欠席者の氏名・人数を記録して事務課長に報告する。 				
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 雨天時について、多少の雨ならば避難場所は職員駐車場であるが、止むを得ない場合は体育館に避難場所を変更する。 教職員は、当日の朝、自動車をあさひ園側へ移動させること。（避難時の集合場所の確保のため） 				

令和5年度 防災（避難）訓練実施シナリオ

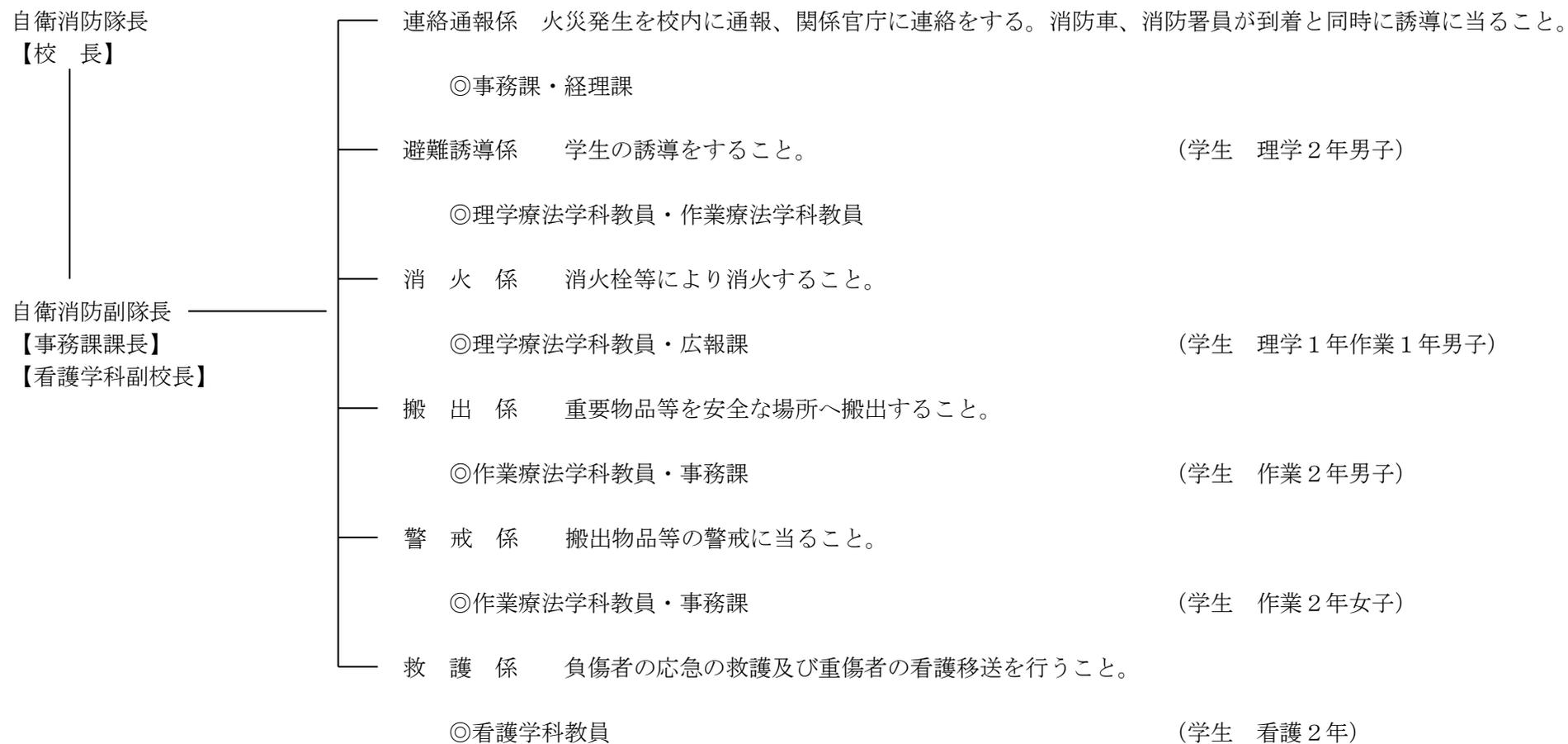
令和5年 5月16日調

時刻	訓練項目	担 当	内 容
15:00	火災発見	発見者→副隊長 副隊長→隊長 自衛消防隊へ	「火災を発見しました。場所は学生ホールです。これから消火器で初期消火にあたります。一戸副隊長の応援をお願いします。」(笠井) 「今、学生ホールの電子レンジから火が出ているのを確認しました。初期消火では間に合いません。全教職員、全学生の避難の必要があります。」(一戸事務課長) 「消防署に通報すると同時に、校内の全員に避難することを命ずる。」(林校長)
15:02	避難訓練	通報連絡係	「 訓練 火災警報」 「学生ホールから出火しました。全員職員駐車場へ避難してください。」 2回放送(鈴木)
15:03	通報訓練	「119」番へ	*旭川消防本部司令室へ「 訓練 火災通報 緑が丘東1条2丁目 北都保健福祉専門学校校舎南側から出火、目下延焼中です。」(田澤) (消防署から質問有)
		避難誘導係	避難を指導する。(迅速な行動、私語の禁止、安全管理等)
		消火係	同上
		搬出係	同上
		救護係	同上
		クラス代表	クラスの人数を確認し、一戸副隊長へ報告 (例=〇〇学科〇年 在席〇〇名 欠席〇名 〇〇名避難完了)
		一戸副隊長	全クラス避難完了次第、隊長へ報告
15:10	消火器訓練	鈴木 教職員・学生	「旭川南消防署緑が丘出張所の方に消火器の使い方を説明していただきます。」 「よろしくお願いします」 実演
15:40	校長訓辞	鈴木 校長 鈴木	「校長先生のお話があります」 訓辞 「今回の避難訓練に旭川南消防署緑が丘出張所の方がお見えなので、講評をいただきます。」 「お願いいたします。」
	講評等	消防	講評
15:50	終了	鈴木	「有難うございました」 「以上で避難訓練を終了します。」

自 衛 消 防 組 織 一 覧 表

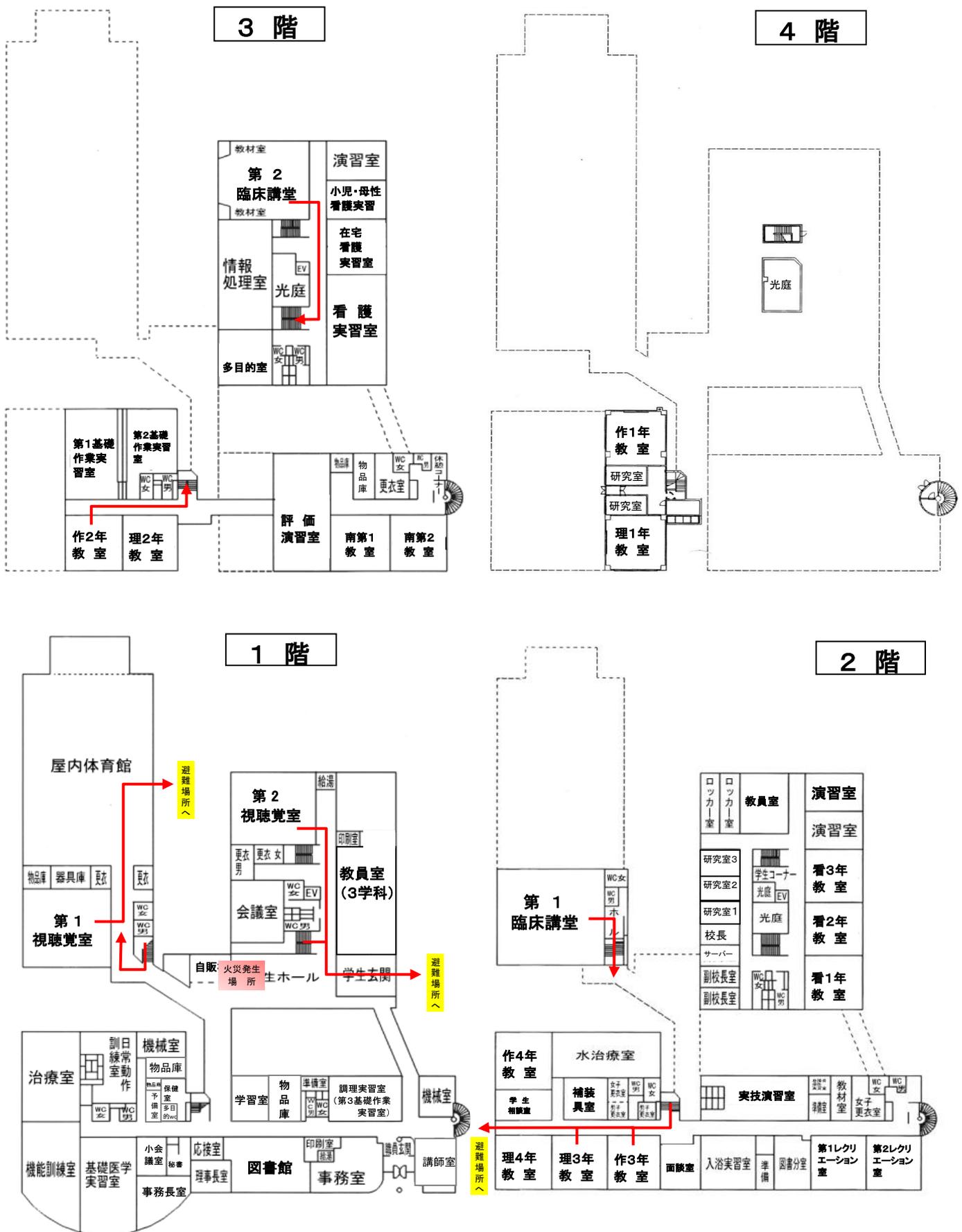
令和 5年 4月 1日
北都保健福祉専門学校

9



避難経路図

令和5年5月現在
北都保健福祉専門学校



避難訓練学生指導要綱

実施日：令和5年 6月 8日（木）

避難時

- 担当教員の指導に従い、私語厳禁、沈着冷静、かつ敏速に避難すること。
- 避難する時は、教室の窓、出入口の戸を閉めること。
- 各自の所持品は教室に置いたままにすること。（貴重品に注意＝持参して避難）
- 講義中に照明等々の電気機器を使用していた場合、スイッチを切ること。

集合時

- 避難場所に着いたら指定の場所に整列し、私語は慎むこと。
- 避難場所に到着後、クラス代表は人員を確認し、速やかに副隊長（一戸事務課長）に報告すること。
- 校長の講評があるので静粛にすること。
- 学生は司会者の指示があるまで勝手に位置を離れないこと。

終了後

- 将来は患者、入所者等を避難させる立場になるので、避難訓練の大切さを自覚し日常的に避難行動ができるようにすること。
- 担当教員にレポート提出を指示されたときは、期日までに提出すること。

避難口

- 体育館非常口（理学1・2年、作業1年）
- 西棟2F非常階段（理学3年、作業2・3年）
- 北棟1F学生玄関（看護1年・看護2年）

※ 各担任は防災訓練の欠席者名と欠席理由を記入し副隊長に提出すること。

※ H21年の 避難時間は3分28秒（ 〃 ）

H22年は 消火器訓練とAED訓練（体育館）

H23年の 避難時間は5分22秒（職員駐車場）

H24年の 〃 4分40秒（ 〃 ）

H25年の 〃 3分29秒（ 〃 ）

H26年の 〃 3分14秒（ 〃 ）

H27年の 〃 3分18秒（ 〃 ）

H28年の 〃 3分21秒（ 〃 ）

H29年の 〃 3分08秒（ 〃 ）

H30年の 〃 2分16秒（ 〃 ）

R1年の 〃 3分59秒（ 〃 ）

R2年は新型コロナウイルスの影響により中止

R3年の 避難時間は3分42秒（体育館）

R4年の 〃 3分16秒（職員駐車場）

消火器訓練について

<目 的>

令和5年度防災（避難）訓練時において、火災時の初期消火の方法を普段は使用できない消火器を使用し放水訓練を行う。

訓練では、消火器の取り扱い方法、注意事項等を旭川南消防署員の方に指導してもらい、火災時の迅速な初期消火活動の向上を図ることを目的とする。

<訓練方法>

校内から集合場所へ避難した後、旭川南消防署緑が丘出張所の指導を受けて、教員、学生の代表者に消火器を使用しての放水訓練を行う。

<実施日及び詳細>

日 時：令和5年 6月8日（木）15：10頃～

指 導 者：旭川南消防署緑が丘出張所

対 象 者：教職員4名、学生8名（予定）

訓練場所：教職員駐車場

使用機器：消火器（中身は水）

雨天時について

雨天の場合は次のとおり避難場所を体育館に変更する。

しかし、雨天であっても多少の雨の場合には自衛消防隊長の判断において屋外への避難とする。

日 時 : 令和5年 6月 8日 (木) (15:00~15:50)
場 所 : 北都保健福祉専門学校 体育館
内 容 : 避難訓練 (体育館)、消火器放水訓練
(放水は、非常口を開放して外に放水する)
備 考 : 訓練終了後に校長訓示、消防署員の講評

<注意事項>

- ・体育館集合時でも避難時と同様に私語やふざけた言動は慎むこと。
- ・体育館での整列は、担任教員に従い静かに迅速に行うこと。
- ・クラス代表は、整列後クラスの人数を確認し一戸副隊長に報告すること。

